

第 二 次

登米市総合計画

第4編

重点戦略

P
R
I
O
R
I
T
Y

S
T
R
A
T
E
G
I
E
S



(1) 基本的な考え方

全国的な人口減少を背景として、本市でも少子高齢化の進展などによる人口の減少が続いています。

将来像に掲げる「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」を実現するため、基本計画に掲げた各施策に取り組んでいきますが、地域の活力の根源となる人口の減少は、すべての施策において大きく関わるものであり、人口減少に対応する取組の優先度は、極めて高くなっています。

一方で、今後はこれまでのように幅広い行政サービスを展開していくことが、非常に困難になる財政状況が見込まれており、本市の活力を向上するため積極的に投資すべき方策を絞り、集中的に実行する必要があります。

このため、人口減少を克服して本市の持続的な発展のために最も効果が期待できる方策を「重点戦略」として位置付け、住み続けたい、住みたいと思うまちとして、人や企業から選ばれるよう重点的に取り組みます。

(2) 基本方向

本市の人口減少は、少子高齢化の進展により死亡者が出生者を上回る自然減少と、年齢階層別人口の推移で特に15歳から24歳の年齢階層で、転出者が転入者を上回る社会減少が主な原因となっています。

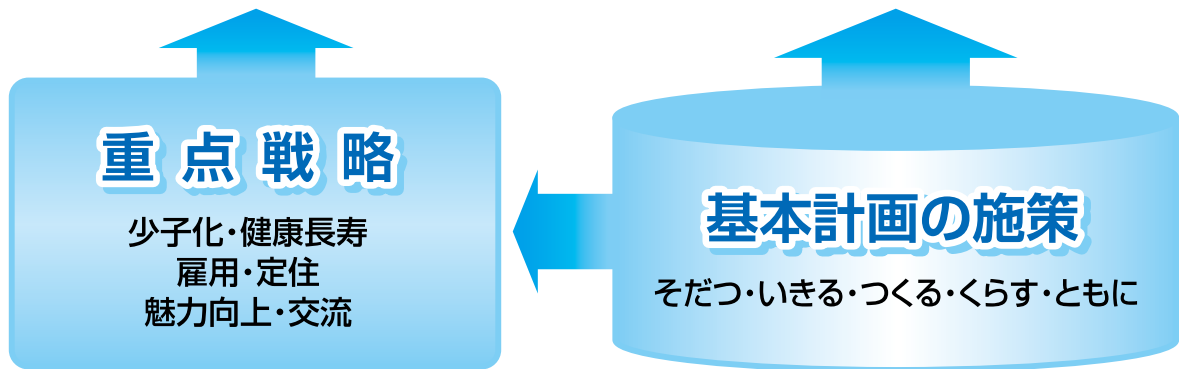
将来を担う子どもの増加は、地域の活力向上につながり、健康で長生きすることは、安心と活力のある地域社会につながることを期待されるため、自然動態による増加、減少の抑制策として『少子化・健康長寿』に重点的に取り組みます。

また、産業の活性化による雇用者の増加は、所得向上と定住者の増加につながり、移住定住者の増加は、産業の活性化と地域の活力向上につながることを期待されるため、社会動態による増加、減少の抑制策として『雇用・定住』に重点的に取り組みます。

さらに、地域資源を活かし、戦略的にまちの魅力を情報発信することで、地域経済の活性化と定住につながることを期待されるため、総合的な促進策として『魅力向上・交流』に重点的に取り組みます。

これらの基本方向により、将来像の「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」を実現するため、5つの重点戦略を掲げて取り組みます。

将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現



重点戦略Ⅰ

子育て応援の取組により、
出生者数を10年間で4,800人以上にします。

本市の出生者数は、500人を割り減少傾向となっています。

このため、安心して子どもを産み育て、健やかに成長できる環境づくりを目指して、結婚・妊娠・出産・子育て・教育の各ステージにおいて、切れ目のない支援の取組により、出生者の増加を図ります。

重点戦略Ⅱ

健康長寿の取組により、平均寿命を
10年後までに県内平均以上にします。

本市の平均寿命(平成27年厚生労働省市区町村生命表)は、男性が80.6年(県平均81.0年)、女性は87.0年(県平均87.2年)で、県内市町村の順位は、男性23位、女性19位となっています。また、健康寿命*は、男性25位、女性15位となっています。

このため、市民が元気に住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができる環境づくりを目指して、健康で長生きするための取組により、健康寿命の延伸と平均寿命の延伸を図ります。

*厚生労働科学研究班による「健康寿命の算定プログラム」を用いて「宮城県健康推進課」で算出している。

重点戦略Ⅲ

企業誘致と起業・創業、既存企業支援等の産業振興の取組により、10年間で1,500人以上の雇用を創出します。

本市の農林業や製造業、商業などの就業者数は、社会経済情勢の急激な変化などにより、平成17年の43,598人から、平成22年の39,412人に減少したものの、平成27年には41,964人まで回復してきています。

この基調をより確実なものとするため、農産物等の豊富な地域資源の活用など魅力ある元気な産業づくりを目指して、農業や商工業など市内産業全体の活性化と、企業誘致のほか、起業・創業、既存企業支援等の取組により、産業振興による新たな雇用創出と安定化を図ります。

重点戦略Ⅳ

移住定住を支援する取組により、10年間で1,000人以上の移住・定住者を創出します。

本市の人口は、年間で概ね1,000人前後の人口減少で推移しています。近年では、特に15歳から24歳の年齢階層で概ね1,000人の転出超過であり、就学・就職・結婚などが理由と考えられます。

このため、若者や子育て世代などから選ばれる住みたくなるまちづくりを目指して、他市などからの移住を推進する取組により転入者の増加を図るとともに、定住促進の取組により転出者の抑制を図ります。

重点戦略Ⅴ

市の魅力向上への総合的な取組により、交流人口等を10年後までに年間374万人以上にします。

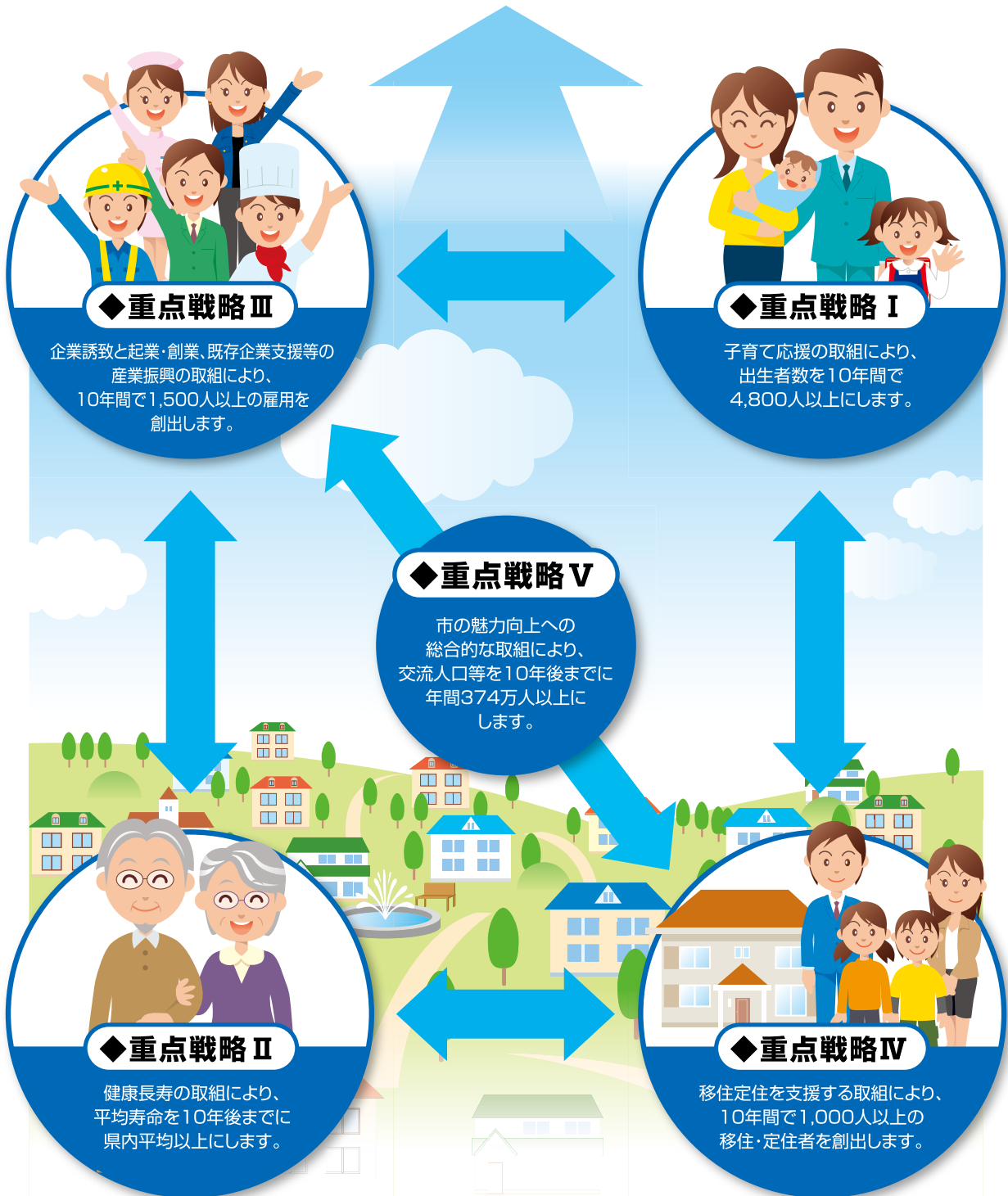
本市の交流人口等は、市内に訪れた観光客数と農産物等の直接PR活動による情報提供人口をあわせて約274万人(平成26年度)となっています。

このため、観光振興によるまちのにぎわいの創出と、魅力と活力にあふれるまち登米市の実現を目指して、地域資源等を活かした戦略的なシティセールス・プロモーションの取組により、本市のイメージ向上によるブランド化の推進、知名度・認知度向上などを図り、観光振興のみならず産業振興など地域活性化を推進します。

住み続けたい、住みたいと思うまちにするため、総合的な取組により、魅力ある地域づくりを進め、観光客等の交流人口と直接PR活動による情報提供人口等の増加・創出を図ります。

【将来像】

あふれる笑顔 豊かな自然
住みたいまち とめ





【中学校の部】優秀賞「豊かで平和な登米市の町」
高橋 茉央さん(東和中学校)

10年後の
登米市のまち
絵画コンクール
登米市内の小・中学生が描いた未来



【中学校の部】優秀賞「自然エネルギーで暮らすまち」
伊藤 利理子さん(東和中学校)